

活動分野	森に親しむ講座		
タイトル	東金日吉神社とその周辺の森		
実施日時	平成30年10月4日(木) 10時~13時30分		
実施場所	東金市		
受講者	38名	FIC会員他スタッフ	10名

### 活動の内容

東金市は九十九里平野と北総台地の境界に位置しており、県郷土環境保全地域指定の社叢林を有する東金日吉神社があります。今回はこの日吉神社の森とその周辺、更に当地にあるいくつかの歴史遺産を巡ろうという少し欲張りな企画です。東金駅から半人工湖である八鶴湖に移動、ここは徳川家康が鷹狩りに訪れるためにつくった御成街道の終着点、家康が宿舎とした東金御殿があった場所です。また湖畔には郷土出身の歌人、伊藤左千夫はじめ北原白州なども滞在したと云う登録有形文化財の八鶴亭などもあり、歴史を感じさせる一角でもあります。

そこから御成街道を辿って北総台地の東端へと、切り通しの急坂を登ります。ここは、崖からの湧き水が小滝（権現滝）をつくり、シダ類が豊富な場所です。

日吉神社の山門に到着、でも寄り道して近くの八雲神社の森をまず観察、ここは狭い神社ですが、直径1m以上もあるスギ、スタジイ、タブノキの巨木が林立しており、特に直径1.5mを超すスタジイが縦横に枝を



八鶴湖畔を行く



御成街道の急坂

這わせている様は圧巻です。再び日吉神社に戻り、県内随一の39本のスギの巨木が立ち並ぶ参道を辿りました。中でもご神木とされているスギは直径1.7m以上、樹齢400年以上とのこと。またこの社叢林には、樹木以外にもオオバナスビトハギなど暖地性の草本が生育しているのも特徴です。ここまで観察して昼食、しかし午後は雨模様となったので、最後の予定だけスキップして引き返しました。



八雲神社のスタジイ巨枝



日吉神社山門



日吉神社参道